

【保存版特集】四国八十八カ所 お遍路入門

個

ikkojin
3 MAR. 2014
No.166
定価680円

お遍路入門
四国八十八カ所

【保存版特集】ご開創1200年

弘法大師

弘法大師空海の伝説と
お遍路の歴史を辿る

納経の仕方は？読経は？お遍路の装備品は？
お遍路参拝 基本のき

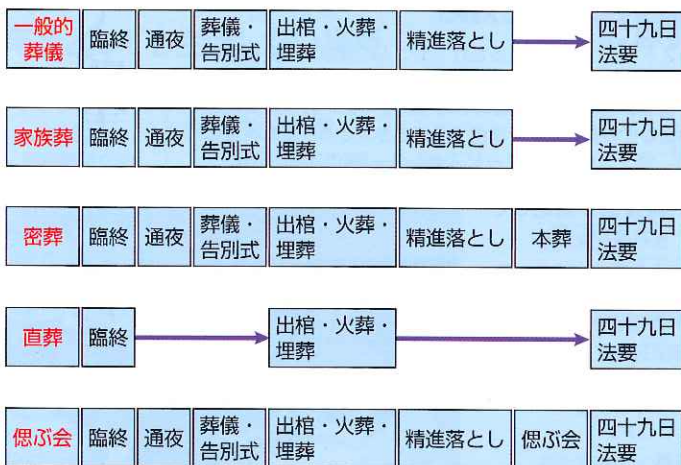
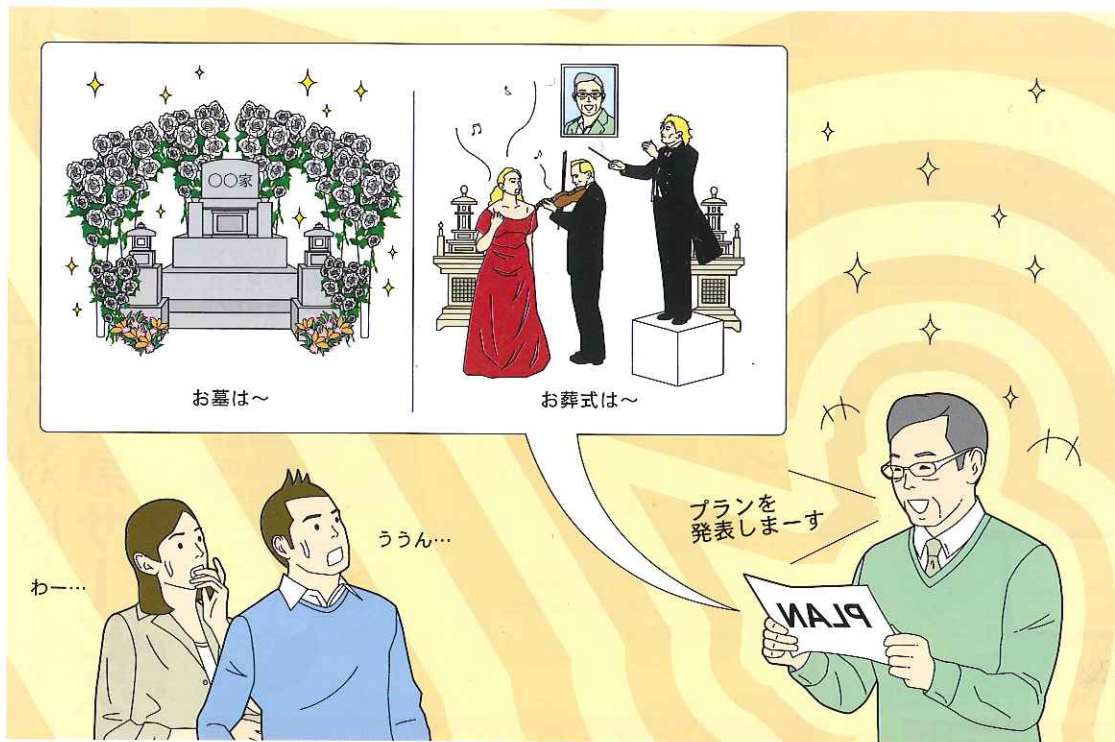
弘法大師の修行伝説が残る
発心・修行・菩提・涅槃の道場を巡る

2014年秘仏開帳カレンダー

大人気！参拝の証し・御朱印図鑑

〒550-0001 大阪市淀川区西中津2-1-10
第45号室 寺通堂60号
平成18年11月18日第三種郵便物認可

伝統的な一般葬の形にこだわらない 新しい葬儀のスタイルが主流に!?



葬儀の形式は多様化している

参列者を近親者に絞り込む家族葬(密葬)、通夜・葬儀を行わない直葬(火葬式)などのシンプル化傾向が進んでいる。儀式色を薄め、関係者に広く声をかけて故人を悼む「偲ぶ会」形式を希望する人も少なくない。

セット価格に含まれない変動費に注意

葬儀費用の支払いに関するトラブルの多くは、飲食費、返礼品などの変動費。料理・飲み物代で、後日、多額の請求が来る事例も少なくない。口頭ではなく見積書を細部まで確認するのは必須。

基本項目	
オプション項目	
立替項目	1,267,000円
飲食接待費用	455,000円
宗教者へのお礼	514,000円
合計	2,236,000円

(2010年(財)日本消費者協会調査)

生前に複数の葬儀社から
相見積もりをとることが大切

「葬儀は以前と比べて規模が小さくなってきたように感じられます」

と言うのは、全日本葬祭業協同組合連合会・専務理事の松本勇輝さん。最期のセレモニーとして、故人を知る近親者、知人、関係者に広く声をかける一般葬の形は徐々に減りつつあり、近親者による家族葬が増えてきているという。

もうひとつは、オリジナル葬の増加。斎場の一角にメモリアルコーナーを設置し、趣味の品物を飾ったり、ありし日の映像や、故人が好きだったバンドの曲を流したりする演出も、以前はあまり見られなかったものだ。

「いまは故人と遺族の気持ちを最優先するのが葬儀。そういった意味でも、後悔しない葬儀を施行できるかどうかの8割は、業者選びにかかっている」

と松本さんは断言する。葬儀社を生前に選んでおく場合、重視すべきポイントがある。①実店舗があつて見学できる、②葬儀施行のしつかりとした実績がある、③電話での応対が丁寧、④葬儀プランの生前見積もりがイヤな顔をしない、⑤担当者との相性が合う、⑥地域の風習、慣習を知っている、の6項目だ。

最低でも3〜4社に事前相談して、自分の意思を実現してくれそうな葬儀社を選んでおくとよい。